

なぜ、
東京都看護協会に、
多くの企業が
支援するのか？

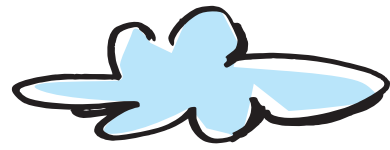
寄付及び賛助会員募集の手引き

- 多くの企業が支援する理由と事例
- CSR は顧客へのわかりやすいメッセージ
- CSR 担当者の悩みを解決
- 賛助会員企業との共同企画事例など

詳しくは中ページへ



公益社団法人
東京都看護協会
TOKYO NURSING ASSOCIATION



公益社団法人東京都看護協会へ ご支援をお考えの皆様へ

人生 100 年時代を迎え、健康や医療に対するニーズが高まる中、看護職への期待とその役割はますます高まっています。公益社団法人東京都看護協会では、保健師、助産師、看護師及び准看護師が教育と研鑽に根ざした専門性に基づき、看護の質の向上を図り、看護職が安心して働き続けられる環境づくりを推進し、人々の健康な生活の実現に寄与することを目的としてさまざまな活動をしております。これらの事業に必要な資金は主に会員の方々の会費及び事業収入を充てておりますが、今後、活動をより充実させるためには、多くの方からのご支援、ご協力が必要です。本協会の事業活動にご理解とご賛同をいただき、是非ご支援くださいますようお願い申し上げます。

よろしくおねがいいたします！



なぜ、企業が支援先として東京都看護協会を選ぶのか?..その1

近年、企業に求められる役割は広がり、利益の追求だけではなく企業の社会への影響に対する責任（CSR：Corporate Social Responsibility）も同様に求められる時代になりました。企業が取り組むCSR活動には文化支援、環境保護、ボランティアなどが挙げられます。その中の一つである公益団体に対する寄付活動は、消費者や関係者へCSRへの取り組みををわかりやすく伝える事ができ、企業の運営に様々なメリットを生み出しています。

東京都看護協会は看護職支援とともに、地域の人々への保健・医療提供に長年携わってきた実績を認められ、信頼できる組織へと成長してきました。それらの積み重ねが、寄付のしやすい団体という認識に繋がっていると自負しております。

■ 看護職への寄付は 顧客へのわかりやすいメッセージ

ライフスタイルや価値観の変化により、人々は企業の社会的価値をみてどのブランドを選ぶかを決める傾向が強まっています。自分が購入した商品が、社会的に良い貢献をしている企業の場合その信頼度はさらに高くなります。公益団体への支援は良い企業イメージに繋がりがやすくあらゆるステークホルダーへのわかりやすいメッセージとなります。



■ 既存社員、新入社員へのアピール

従業員の多くは、常に自分が所属している会社の評判を気にしています。自分の所属する会社が、社会的に貢献度が高い活動を行っている場合には、従業員に誇りが芽生え、モチベーションアップに繋がります。また、社内に目を向けると、ブランドイメージの向上は、優秀な人材の確保や離職率の低下にも繋がります。

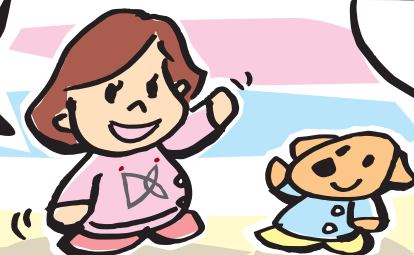


■ ブランドイメージの向上

社会貢献活動を続けてもすぐには利益を生みません。しかし時間と労力をかけ、地道な活動を続けていくと最終的には自然と良いイメージが定着し、顧客との間に深い絆が生まれます。現代社会は、事業そのものに社会的な価値があるかが問われる時代になってきていると言ってよいでしょう。



企業が成長し続けるには
わかりやすい
CSR活動が必要ね！



うんうん！

なぜ、企業が支援先として東京都看護協会を選ぶのか?..その2

■ 看護職支援という身近な存在

顧客や従業員にとって医療機関や福祉施設、行政機関で接する看護職は非常に身近な存在であり、身体の不調や健康に不安があると真っ先に向かう生活インフラです。そこで働く看護職を支援する公益法人を選ぶことは、顧客や社内の方々にも理解が得やすく、安心して寄付が出来る支援先の一つです。



■ 担当者を悩ます寄付先の選定

CSR 担当者にとって寄付をする支援先を選定することはとても大切な仕事です。一般的な団体などに寄付をする際には、本当に実在しているかどうかや、過去の実績を調べ、社内事業との関係を把握しなければなりません。しかし長年看護職を支援してきた公益社団法人東京都看護協会は、実績もすぐ確認が出来、社内の承諾も得やすい支援先の一つです。



■ 寄付金は税制上の優遇措置があります

公益社団法人東京都看護協会への賛助会員会費及び寄付金は税制上の優遇措置があります。

ご支援の詳細については、下記ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.tna.or.jp/kyokai/introduction/>



なぜ、企業が支援先として東京都看護協会を選ぶのか?..その3

■ 約5万人の看護職のために共同企画

ご支援いただいた企業様のご厚意で、東京都看護協会の会員、約5万人のために、多くの優待商品や優待サービスが生まれました。この共同企画は、定期発行している会員向けの冊子やウェブサイトで紹介しており、会員の皆様から大変好評を得ています。勤務時間も不規則になりがちな忙しい看護職の方々に活力を与えています。



ご寄付・ご支援・共同企画の事例

■ 賛助会員さまとの共同企画やご支援の事例をほんの一部ですがご紹介させていただきます。

一般社団法人
卓球で日本を元気にする会 様

ご寄付いただきました卓球台を使用し、長期研修受講者が卓球を楽しんだり、卓球イベントを開催したりしています。健康寿命の延伸にも寄与する活動をご支援いただいております。

一般財団法人
KODAMA 国際教育財団 様

ラオス都市部近郊住民の健康診断と成人病予防のための啓発活動の支援、国内外の公衆衛生活動に携わる国際的な医療人材育成に対する活動をご支援いただいております。

ピジョン タヒラ株式会社 様

「看護から生まれた 清潔ケア」シリーズを共同開発。在宅看護・介護ケアサービスの充実と質の向上に共に取り組んでおります。(2019年2月発売)

コカ・コーラボトラーズ
ジャパン株式会社 様

売上金の一部が東京都看護協会の「公益目的事業」に充てられる自動販売機を看護協会内に設置しております。利用する人はいつもの一本で看護職をサポートすることができます。

特定非営利活動法人
キャンサーリボンズ 様

サンクスナース活動を通じて、「生(き)の芸術」アール・ブリュット作品展を実施しています。東京都看護協会内で自由にアートを感じ体験していただけます。



■ 寄付者の顕彰について

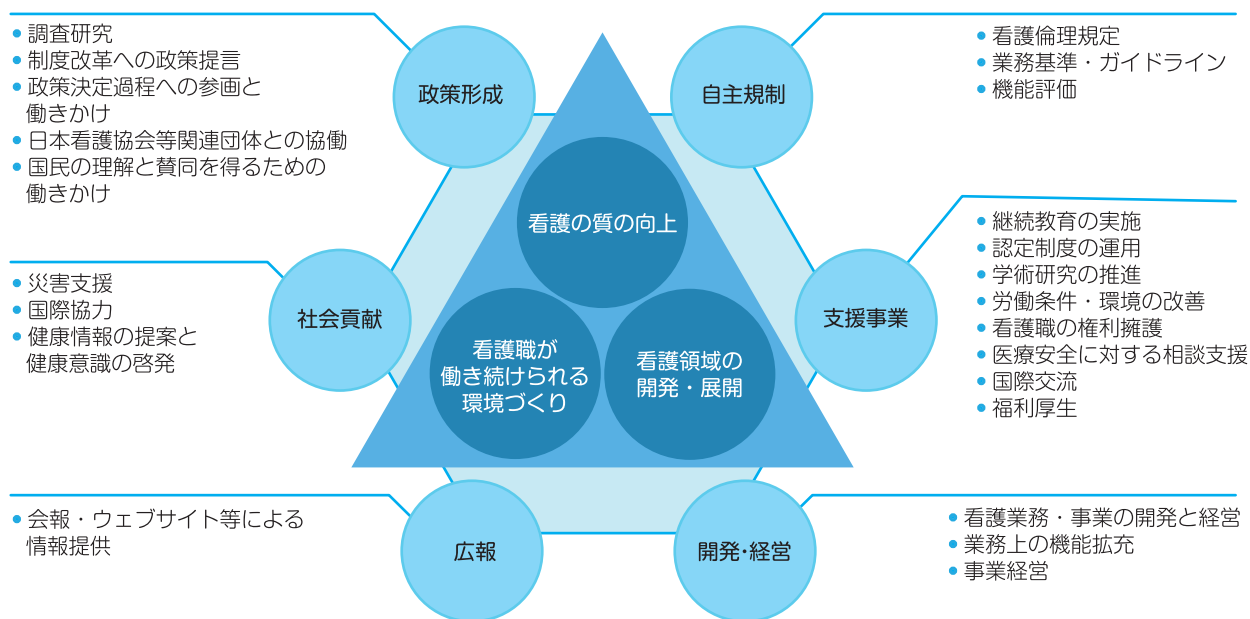
感謝と敬意を込めて、ご寄付・ご支援を頂いた方の寄付者芳名録を作成し、広報誌及びウェブ芳名帳へ掲載いたします。

また、当会館1階の「会館施設芳名プレート」へご芳名を刻み、末永く顕彰させていただきます。



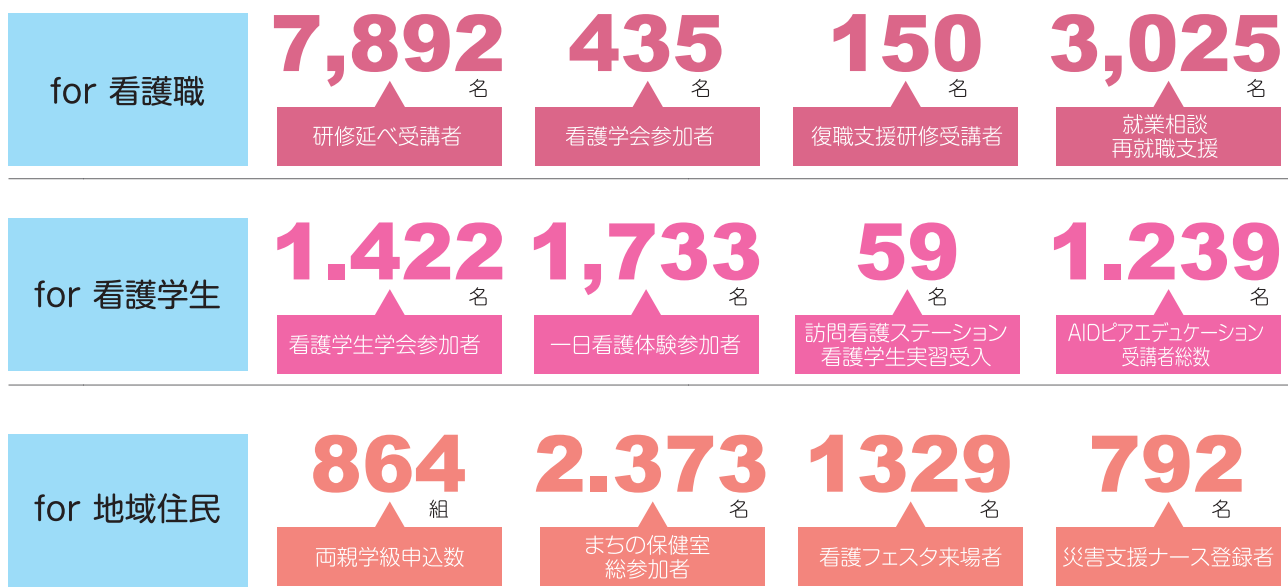
東京都看護協会とは、どんな活動をしているのか？

■ 人生100年時代を迎え、看護職の活動領域はますます高度化しています。時代の変化に適應できるように、看護職を3つの側面から支援するとともに、暮らしの場において看護機能を提供し、地域住民が健康に暮らすことへの支援を強化・推進しています。



皆様からのご支援はこのように活かされています。 平成30年度実績

■ 看護職の資質向上、看護業務の開発・改善、看護職の人材確保と定着、在宅ケアの推進と支援、地域住民の保健福祉に関する活動と多岐にわたる事業を展開しております。



賛助会員とご寄付の申込み方法

■ 賛助会員募集

公益社団法人東京都看護協会では「賛助会員」制度を設け、法人・法人でない団体及び個人のご支援を広く募っています。

■ ご寄付の募集

本会へのご寄付は、企業及び個人の一般寄付金、使途特定寄付金がございます。

■ 税制上の優遇措置

賛助会員会費及び寄付金は税制上の優遇措置があります。

【個人でのご寄付の場合】

所得税の申告の際「税額控除」と「所得控除」のいずれかを選択いただけます。

【法人でのご寄付の場合】

法人さまからのご寄付は、法人税法上、優遇措置の対象となります。

■ お申込み

別紙申込書に必要事項をご記入いただき、ご郵送・メール・FAXいずれかでお申込みください。

【銀行口座】

銀行：みずほ銀行 飯田橋支店

預金種目：普通

口座番号：2512531

口座名義：公益社団法人 東京都看護協会

コウエキシャダンホウジン トウキョウトカンゴキョウカイ

【ご質問・ご相談などお気軽にお問い合わせください。】

公益社団法人東京都看護協会 総務課

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-2-19

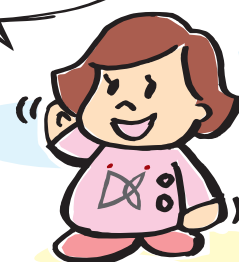
TEL.03-6300-0730

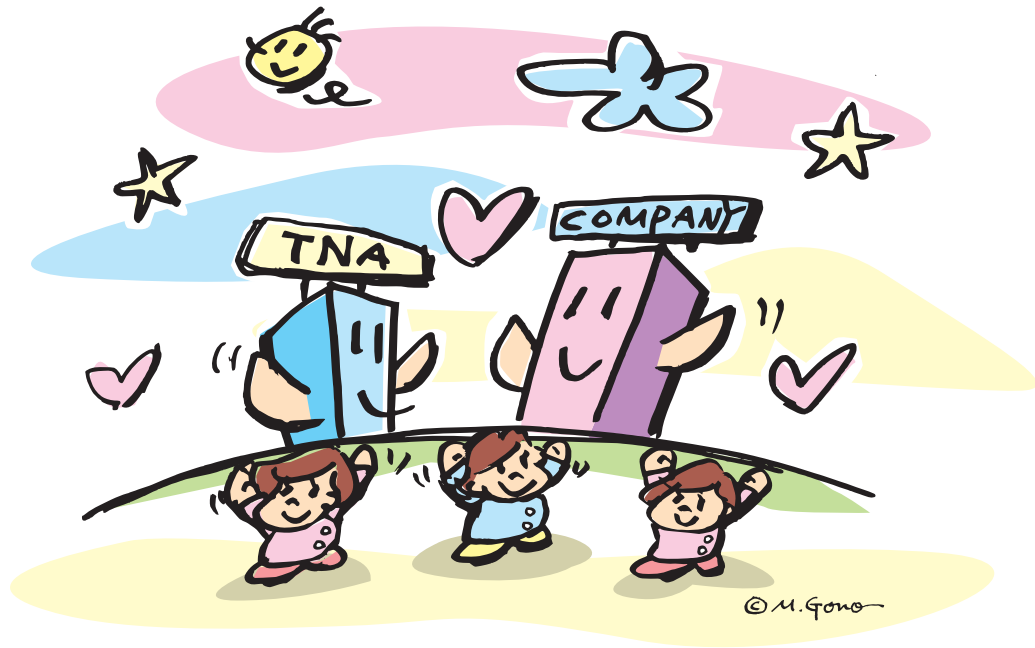
ウェブサイトでのご案内

ご支援の詳細については、ウェブサイトでもご案内しております。

<https://www.tna.or.jp/kyokai/introduction/donation/>

みなさまのご支援を心より
お待ちしております。





公益社団法人
東京都看護協会

[お問い合わせ]

公益社団法人東京都看護協会 総務課

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-2-19

TEL : 03-6300-0730

<https://www.tna.or.jp/kyokai/introduction/>